

進路便り Road to the Future No.32

進路希望状況について

京都府内の中学3年生を対象として、11月に行われた進路希望調査の集計結果を配布しました。この集計結果は、公立高校への進学志望状況の調査結果であり、現時点で府内の中学3年生がどのような進路希望を持っているかを読み取ることができます。自分の志望校に、どのくらいの志願者が集まっているのか、参考にしてください。

ただ注意してほしいのは、“〇〇高校の方が志願者が少ないので、進路希望を変更しよう”と安易に考えないことです。あくまでも、11月時点での調査結果であり、その後進路希望を変更している人がいるかもしれません。また、今後変更する人もいるかもしれません。

安易な変更は、本当に自分が行きたい進路先を失うこととなります。また、変更したからといって、必ず合格するとも限りません。変更がだめだと言っているのではありませんが、しっかり考え、よく相談して決めてください。見学に行ってもいない学校を希望するなんてことはないようにしてほしいと思います。

大事なことは、今回の調査結果から、自分と同じ目標を持つ人がたくさんいることを認識し、自分も頑張ろうという強い気持ちを持ってもらえればと思います。そんな心のスイッチを入れるきっかけにして、日々の授業や、家庭での学習に励んでください。

こんなことは読みとれるかなあ ～進路担当のつぶやき（あくまでも私見）～

- 普通科の前期選抜A(A1)方式は、倍率が概ね4倍前後。かなり狭き門である。

特に鴨沂、桂、山城は6倍を超える。塔南、向陽、洛北も倍率が高く、志願者が多い。

昨年度の資料と比較すると、鴨沂、桂、塔南、向陽は今年度特に高め。

中期も含めて見通すと、東稜・西乙訓・洛水はやや少なめ。でも油断は禁物。今後この集計結果を見て増える可能性もある。（第1志望だけの集計でもある）

- 昨年度新設された京都奏和は、昨年ほどではないものの2倍を超え、志願者が多く集まっている。

厳しい戦いになるので、しっかり準備を頑張る。（ランナップノート・面接対策など）

- 専門学科の前期選抜は、倍率が概ね2倍前後。学校・学科によってばらつきがある。

京都工学院高校プロジェクト工学科は、ものづくり分野の方がやや人気。

京都すばる高校は、情報科学科がやや人気。

くれぐれも

※学校・学科・方式によって差が出ている部分もあります。不明な点は相談してください。数字に振り回されないように。

京都府高校生等修学支援事業 貸与予約申請 受付中です

詳細は、11月の三者懇談でお渡しした資料（サーモンピンク色の冊子）を参照して下さい。

予約申し込みの締め切りは、12月20日（月）ですので、随時ご相談ください。

※ 申し込みに関しては、早めに担任に相談してください。

※ 今回、申し込みが出来なくても高校入学後に申請は可能です。ただし、貸与が遅れます。

上記の京都府の支援事業では、貸与金は入学後（4月末以降）にしか貸与されません。そこで、入学金や制服代など、入学当初に必要なお金は各ご家庭で準備していただく必要があります。そのための教育支援金として、社会福祉協議会では、教育支援資金の貸付の制度があります。事前の相談や審査がありますので、制度の利用をお考えの場合は、早急に市区町村の社会福祉協議会に、ご相談されることをお勧めします。